取扱説明書

（保証書）

SMH10

http://intersolutionmarketing.jp/headset/

もくじ

概要 － －

製品取扱について　－ －

本製品を安全にお使いいただくために
本無線機器を安全にお使いいただくために
バッテリーの取扱、充電、保管など
製品の維持管理
製品の廃棄

免責・製品保証　－ －

製品保証
保証書
修理・障害票

製品 － －

各部名称
機能・仕様
パッケージ
アクセサリー

装着・操作方法 － －

装着したヘルメット
ヘルメットに装着

電源のオン・オフと充電

電源のオン
電源のオフ
充電
バッテリーの低下の知らせ

Bluetooth 機器とペアリング

携帯電話とペアリング
Bluetooth MP3 プレーヤーとペアリング
Bluetooth GPS ナビゲーションとペアリング
SMH10 と SMH10 同士でインターコム通信

SMH10 の使い方　－ －

基本

各部名称
音量調整

携帯電話とともに使う

電話がかかってきた時、通話を始める
かかってきた電話を拒否する
つながっている Bluetooth 機器の切り替え
話をかけるいくつかの方法
SMH10 の音声認識電話応答機能を使う
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブにする/しない設定

インターコム通話

通話開始と相手を選ぶ
通話を終了する
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブ状態での通話開始
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブでない状態での通話開始
相手につながらない場合
自動的に再接続する場合

MP3 プレーヤーを聴く

音量を調整する
再生と停止
早送り、巻き戻し

操作の予備知識

機能に優先順位あり
初期状態（工場出荷状態）にする
万が一異常動作を起こしたとき

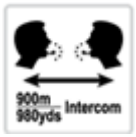
概要

Sena SMH10 は、モーターバイク用に設計された Bluetooth ステレオヘッドセット・インターコムです。ハンズフリーに Bluetooth 携帯電話で会話する、音楽をクリアーにステレオで聴く、Bluetooth GPS のナビゲーションを聞く、Sena SMH10 を使うライダー同士で電話のように互いに話す。そのようなことを実現します。

ワンタッチのジョグダイヤル操作で相手を選んで会話、ワンプッシュ操作で機能を切り替えてヘッドセットとして使う。Sena SMH10 によって、ツーリングの楽しさが、倍増します。

特長

Bluetooth v2.1



通話距離の最長は、お台場レインボーブリッジより長い 900m

互いに通話できるマルチインターコム、最大 4 人

MP3 プレーヤーなど Bluetooth オーディオ機器のステレオヘッドフォン

AVRCP 機能で、Bluetooth 機器で音楽は、再生、停止、早送り、戻りをコントロール

シンプルに正確な機能切替をするジョグダイヤル

オーディオブースター機能で、クリアーで上質な音

ヘッドセットとして、

1. Bluetooth 対応の携帯電話、スマートフォンでの通話がハンズフリー
2. Bluetooth GPS 音声ナビゲーション用の Bluetooth ヘッドセット
3. Bluetooth MP3 音楽プレーヤー用のステレオヘッドセット
4. 3.5mm オーディオケーブル（AUX）でステレオ音楽用のヘッドセット

音質は、

1. クリスタルでクリアーな音質を実現
2. ノイズキャンセレーション機能

装着使用時、

1. 雨天時などの悪天候でも使える耐水仕様
2. 風切り音削減機能
3. 一回のフル充電で、待受時間 240 時間、通話時間 12 時間

「つ・な・ぐ」をキーワードにソリューションを提案するインターソリューションマーケティングが、機器と機器をつなぐ LAN、WiFi 通信・Bluetooth 通信機器開発で培ったノウハウをもつリーディングカンパニー、セナ テクノロジーズ社からリリースされた Sena SMH10 を紹介します。

製品取扱について

本製品を安全にお使いいただくために

- **本機、メインユニット、マイクロフォン・スピーカー、クランプユニットおよびアクセサリーを正しく使用するために、必ずお読みください。**
- **この記載内容を守って製品をご使用ください。**
- **パソコンや接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを謝ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。**

表記の意味

警告表示の意味

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項

一般禁止 その行為を禁止します。

接触禁止 特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止 水がかかる場所での使用、水に濡らすなどして使用すると漏電、感電、発火の可能性を示します。

火気禁止 外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止 分解することにより製品が発火する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

警告事項

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復したりしないでください。火災がおきたり感電するおそれがあります。

本製品の内部に次のような異物を入れないでください。
金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品等回路がショートして火災の原因になります。

本製品を改造・分解しないでください。
感電、発煙、発火の原因になります。

ボタンに過剰な圧力をかけないでください。
ボタンに過剰な圧力をかけたり、必要以上に押し続けると、故障の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

電源ケーブル(または AC アダプター)は必ず本製品付属のものをお使いください。また、製品添付の電源コード(または AC アダプター)を他の機器には使用しないでください。
本製品付属以外の電源ケーブル、AC アダプターをご使用になると、感電、発煙・発火のおそれがあります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合には、すぐに AC アダプターを抜いてください。
そのまま使用し続けると、ショートして火災になったり感電したりするおそれがあります。

煙がでたり異臭がしたり音がしたら、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用し続けると、ショートして火災になったり感電したりするおそれがあります。

本製品を、風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。
感電、火災の原因になるおそれがあります。

周辺機器は、マニュアルの記載されている手順に従って正しく取り付けてください。
正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

電源製品のケーブル、コネクター類、付属品など小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。
けがをするおそれがあります。

化学溶剤、洗滌剤などを使わないでください。

製品をペイント等で塗装しないでください。

注意事項

電源ケーブルが AC コンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電するおそれがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属(ドアのノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
身体の静電気が本製品を破損するおそれがあります。

次の場所には放置しないでください。
・感電、火災の原因になり、製品に悪い影響を及ぼすかもしれません。
・強い磁界が発生するところ(故障の原因)
・静電気が発生するところ(故障の原因)
・振動が発生するところ(故障、破損の原因)
・平らでないところ(落下などでけがの原因)
・直射日光があたるところ(故障や変形の原因)
・火気周辺、熱気がこもるところ(故障や変形の原因)
・漏電の危険のあるところ(故障や感電の原因)
・漏水の危険のあるところ(故障や感電の原因)

本製品を破棄するときには、各地方自治体の条例に従ってください。
内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本無線機器を安全にお使いいただくために

正しく使用するために必ずお読みください。
この記載内容を守って製品をご使用ください。

パソコンや接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを誤った故に生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。

⚠ 警告

無線機器について

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
・医療機関内でのご利用の際には、各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・医療機関内では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一医療機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。ご利用に関しては各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内及び指示に従ってください。交通機関では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一各交通機関の制御装置や機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。特に航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置等へ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は航空機内ではご利用にならないでください。詳しくは、各交通機関へお問い合わせください。 電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
・電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは、電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり、動作が不安定になるのを防ぐためです。

電波について

・本製品の無線の周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器や、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別装置用の構内無線局や、特定省電力無線局と重複しているために、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。本製品のご利用の前に、干渉範囲に移動体識別装置用の構内無線局や特定無線局が運用されていないことを確認してください。
・万が一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、使用を中止して下さい。
・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉などで何かお困りのことが発生しましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

その他

Bluetooth 搭載機器の場合は対応プロファイルによってご使用できない場合もございますのでご了承ください。なお、プロファイルの確認についてはご使用の Bluetooth 機器のユーザーガイドをご覧ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

2010 年 4 月 1 日　初版
発行　株式会社インターソリューションマーケティング

バッテリーの取扱、充電、保管など

取扱について
SMH10 には、メインユニットに内臓され一体型バッテリーになっています。バッテリーを本体から分離、分解することを固く禁止します。

充電について
バッテリーへの充電は数百回以上できます。しかし、寿命になると充電できなくなりますのでご了承ください。充電する場合、本製品の同梱された充電機器、充電用ケーブルのみ使用するように御願いします。それ以外の充電器、ケーブルを使う場合、火事、爆発、炉電など生じる場合があり大変に危険です。

保管環境
(温度)保管する温度は、常温の 15C から 25C の場所に御願いします。保管場所が、それよりも低温、または高温の場合にはバッテリーの性能が急激に低下し、場合によっては正常に動作しないこともあります。特に 0C 以下の場合には、性能が大きく低下します。

(場所)火器に近付けたり火に投げ込んだりしないようにしてください。爆発することがあります。また、外部から衝撃を与えないでください。その時にも爆発することがあります。

(動作時間)バッテリーの動作時間は、使用環境、機能の使用状態、動作状態、バッテリーの寿命と保管状況・温度などさまざまな条件によって変更します。

製品の維持管理

製品のユーザーガイド、及び、製品を安全に使うために、の項をよくお読みいただき、製品の維持管理並びに製品の取扱にご注意をくださいますよう御願いします。

製品の廃棄

本製品パッケージに上のこのマークは、電子製品、その部品、アクセサリー、バッテリーなどを廃棄する場合、適切な方法に従い(例えば、分別処理廃棄が必要な場合、廃棄前に廃棄できる状態にして)行うようにお知らせしています。これは分別処理するシステムが適用されているすべての地域に適用されます。環境汚染の防止、無分別な廃棄による健康への害がないように、本製品を他の一般ごみと一緒に廃棄することないように御願いします。廃棄の際、分別処理について不明な場合には、最寄りの各地方自治体へお問い合わせください。

免責・製品保証

免責

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。本製品使用時の法的責任はすべて使用者にあり、本製品のメーカー、輸入会社、及び販売会社は一切の法的な責任は負いません。

製品保証

製品保証期間は、購入日から 1 年です。ただし、ご利用される方の責による不具合、故障の場合には製品保証の対象外となる場合があります。製品のユーザーガイド、並びに、安全にお使いいただくために、を必ずご覧くださいますよう御願いします。詳しくは、弊社までお問い合わせください。

製品

もくじ

各部名称
機能・仕様
パッケージ
アクセサリー

製品

各部名称

SMH10 メインユニットをクランプユニットに取り付けたすがた

ジョグダイヤル(回す・押す)の機能	フォンボタン(押す)の機能
・音量調節	・携帯電話の発信／応答
・携帯電話応答拒否	・携帯電話とペアリングする設定状態
・インターコム通信の開始／終了	・MP3 プレーヤー、GPS ナビゲーションとペアリングする設定状態
・インターコム通信の音声自動認識アクティブする／しない	・音声自動認識アクティブする／しない
・MP3 プレーヤーの再生／停止	
・MP3 プレーヤーのトラック早送り／巻き戻し	
・インターコム通信のペアリングする設定状態	
・携帯電話へ切り替え	

メインユニット

スピーカーマイクロフォン クランプユニット

(参考)

(例)装着したヘルメット

製品

機能・仕様

仕様

一般仕様	●**通話時間**：12 時間　*1 ●**待受時間**：240 時間　*2 ●**通話距離（インターコム）**：最長 900m（見通しの良いところ）*3 ●**サイズ** ・ヘッドセット：84.1 x 56.5 x 38.6（mm） ・クランプユニット：223.8 x 85.5 x 30.6（mm） ●**重量** ・ヘッドセット：60g ・クランプユニット：84g
Bluetooth	●**Bluetooth Profiles**： ・Headset Profile ・Hand-Free Profile（HFP） ・Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） ・Audio Video Remote Control Profile（AVRCP） ●**Bluetooth v2.1**
オーディオ	●**オーディオ SBC コーデック対応** ●**ノイズキャンセレーション機能** ●**風切り音削減機能** ●**サンプルレート**：48kHz（DAC） ●**AUX 端子に接続**（3.5mm ジャック）
バッテリー	●**バッテリー充電時間**：約 2.5 時間 ●**タイプ**：リチウムポリマーバッテリー
認証	CE、FCC、TELEC、IC

（注意事項）

*1 待受時間とは、Bluetooth を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

*2 待受・通話時間は、バッテリーの充電状態、設定状況、気温などの使用環境やご利用者様のご利用頻度により変動します。

*3 電波に影響をあたえる環境、遮蔽物にありなし、また、機器のバッテリー状況で通話距離は変動します。

製品

パッケージ

シングルパック(1 人用セット)

製品番号:0410001
JAN コード:4560246091140
製品名:SMH10-01 シングルパック(1 人用セット)
外形寸法(L x W x D):246 x 147 x 81 (mm)
重量:721g

デュアルパック(2人用セット)

製品番号:0410002
JAN コード:4560246091294
製品名:SMH10D-01 デュアルパック(2人用セット)
外形寸法(L x W x D):266 x 169 x 92 (mm)
重量:1,114g

標準同梱品

- Sena SMH10-01 シングルパックに、それぞれ１つ同梱されています。
- Sene SMH10D-01 デュアルパックに、それぞれ２つ同梱されています。

SMH10
メインユニット
(SMH10-01 Headset Main Unit)

SMH-A0108
3.5mm ステレオ/オーディオ ジャックケーブル
(SMH-A0108 3.5mm Stereo Aduio Cable)

SMH-A0301
スピーカーマイクロフォン クランプユニット
(SMH-A0301 Speaker-Microphone Clamp Unit)

貼付用取付アダプター
(Glued Surface Mounting Adaptor)

充電用 DC 電源アダプター
(DC Power Charger)

SMH-A0201
マイクロフォン用スポンジ
(SMH-A0201 Microphone Sponge)

SMH-A0106
充電用 USB 電源ケーブル
(SMH-A0106 USB Power Cable)

SMH-A0201
ベルクロ パッド
(SMH-A0201 Velcro Pads)

SMH-A0107
車載シガレット電源チャージャー
(SMH-A0107 Cigarette Charger)

SMH-A0202
スピーカー/マイクロフォン取付用アレン六角レンチ
(SMH-A0202 Allen wrench)

製品

アクセサリー （別売り製品）

	製品番号 JAN コード	製品名	サイズ	重量
	0410011 4560246091157	SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニット (Speaker-Microphone Clamp)	235 x 105 x 30 (mm)	136g
	0410021 4560246091164	SMH-A010X 充電用 DC 電源アダプターと充電用 USB 電源ケーブル *1 (DC Power Charger and USB Power Cable)	125 x 85 x 35 (mm)	120g
	0410022 4560246091171	SMH-A0106 充電用 USB 電源ケーブル (USB Power Cable)	125 x 85 x 35 (mm)	55g
	0410023 4560246091181	SMH-A0107 車載シガレット電源チャージャー (Cigarette Charger)	125 x 85 x 35 (mm)	73g
	0410024 4560246091195	SMH-A0108 3.5mm ステレオ/オーディオ ジャックケーブル (3.5mm Stereo Aduio Cable)	125 x 85 x 35 (mm)	38g
	0410025 4560246091201	SMH-A0201 取付用アクセサリーセット (Mounting Accessories) *2	125 x 85 x 35 (mm)	30g
	0410026 4560246091218	SMH-A0202 スピーカー/マイクロフォン取付用バックプレートとクランプユニット (Backplate for Speaker-Microphone Clamp Unit) *3	125 x 85 x 35 (mm)	36g

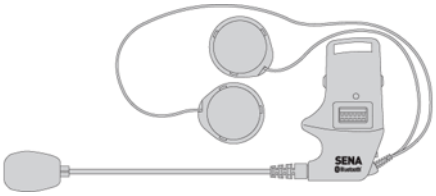
*1 製品番号 0410021、SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットは、 製品番号 0410025、 SMH-A0201 取付用アクセサリー 1セットを含みます。

*2 製品番号 0410025、SMH-A0201 取付用アクセサリーは、貼付用取付アダプター(1) 、六角レンチ(1) 、マイクロフォン スポンジカバー(1) 、ベルクロ パッド(2)からなります。

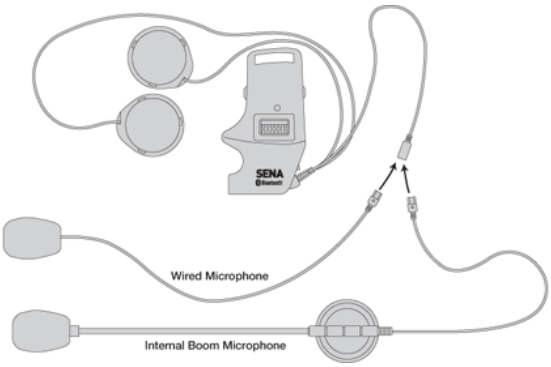
*3 製品番号 0410026、SMH-A0202 スピーカー/マイクロフォン取付用バックプレートは、六角レンジ(1)、スクリューネジ(2)からなります。

用途に適うスピーカーマイクロフォン

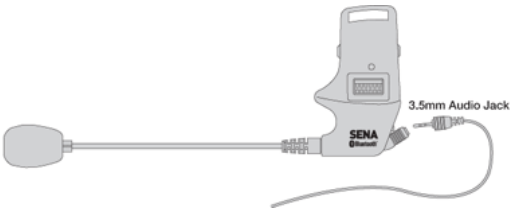
SMH10-A0301（標準）
スピーカーマイクロフォン クランプユニット
製品番号:0410011
JAN コード:4560246091157



SMH10-A0302（オプション）
ケーブル付き及びバー付きスピーカーマイクロフォンクランプユニット
製品番号:0410012
JAN コード:4560246091300



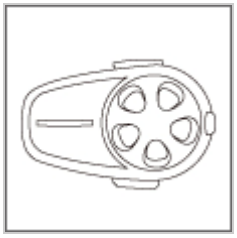
SMH10-A0303（オプション）
3.5mm オーディオジャック付きスピーカーマイクロフォン クランプユニット
製品番号:0410013
JAN コード:4560246091317



装着・操作方法

もくじ

ヘルメットに装着する



SMH10 の使い方

・各部名称
・音量調整
・携帯電で発信
・受信をする
・電話受信で音声認識を有効にする
・インターコム通信を開始
・インターコム通信で音声認識を有効にする
・インターコム通信を失敗した場合
・インターコム通信の自動再接続
・ステレオで音楽を聴く

電源のオン・オフと充電

Bluetooth 器機とペアリング

・携帯電話とペアリング
・MP3 プレーヤーとペアリング
・Bluetooth ナビゲーションとペアリング
・インターコム通信をする SMH10 と SMH10 とのペアリング

操作の予備知識

・機能に優先順位があります
・初期状態の仕方（工場出荷時状態にする）
・異常動作を万が一起こしたとき

装着・操作方法

ヘルメットに装着する

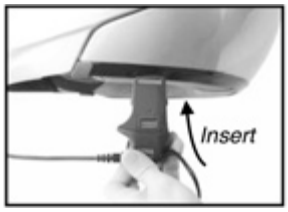
ステップ1　ヘルメットに SMH10 のベースの取付

1−1　ヘルメットの縁に挟み込んで取り付ける（推奨）

1-1-1
（取り付ける前）準備として、SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットに固定されているクランプユニット（ネジ止めされている）を緩める。緩める時には、同梱されている六角レンチを使うと良い。

1-1-2
（ヘルメットの縁に取り付ける）緩めたクランプユニットをヘルメットの縁に差し込み、ネジで固定する。差し込みは内側スポンジ側の中（頭に当たらないように）にする。ネジ止めには、同梱されている六角レンチを使うと良い。

1-1-3
（ヘルメットにしっかりと固定する）クランプユニットのバックプレート上、2 箇所のネジを回して固定する。同梱されている六角レンチを使うと良い。



1− 2　ヘルメットの縁に挟み込めない場合

1-2-1
クランプユニットのバックプレートを両面テープで貼る。貼るために、同梱されている SMH-A0201 メインユニット取付用貼付アダプターを使う。

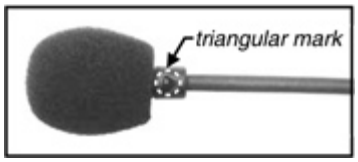
1-2-2
（取り付ける前）準備として、SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットに固定されているクランプユニット（ネジ止めされている）を緩める。緩める時には、同梱されている六角レンチを使うと良い。

1-2-3
下の図のように、SMH-A0201 メインユニット取付用貼付アダプターをバック プレートにネジ止めする。

1-2-4
ヘルメットに貼るために、しっかりと貼ることができるようにその箇所をきれいに拭く。
両面テープ部分のカバーシールを剥がしてヘルメット表面に貼る。

ステップ2　マイクの向きを調整

SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットをヘルメットに装着できたら、マイクの向きを調整する。マイクに印されている三角マーク（▲）が口のほうを向くようにする。



（重要）
クランプユニットをヘルメットの縁に差し込み、ネジで固定することを推奨します。SMH-A0201 メインユニット取付用貼付アダプターを使ってクランプユニットのバックプレートを両面テープで貼った場合、使用時に生じる問題に対処できない場合がありますことご了承ください。

ステップ3　SMH10 メインユニットの取付・取り外し

3−1　SMH10 メインユニットを装着する。
ヘルメットに固定した SMH-A0301 スピーカーマイクロフォン クランプユニットに SMH10-01 SMH10 メインユニットを装着する。下の図のようにスピーカー･マイクロフォン･クランプ･ユニットの下側の溝にあてがい、上部の耳を軽く押しながらヘルメット側へ奥まで倒す。倒した後、抜けないことを確認してください。

3−2　SMH10 メインユニットを取り外す。
下の図のように上部の耳を人差し指で押して、ヘルメット側と反対方向へ引く。その耳を押しながら、優しくそっと引けば外れる。

装着したヘルメット

その１

その２

その３

いろいろ

--- メモ ---

装着・操作方法

電源のオン・オフと充電

Sena SMH10 の電源状態は、SMH10 メインユニット上にある LED の色で示す。操作状態はビープ音が伝える。

電源のオン

電源をオンにするには、Sena SMH10 メインユニットにあるジョグ・ダイヤルとフォン・ボタンを同時に約 1 秒押す。ビープ音が鳴り、LED ランプが青色になり点灯すれば電源がオンになったことを示す。

電源のオフ

電源のオフにするには、Sena SMH10 メインユニットにあるジョグ・ダイヤルとフォン・ボタンを同時に押す。ビープ音が鳴り、しばらくして LED ランプが赤色になり点灯、電源がオフになる。

充電

充電状態は、LED ランプが赤色の点灯から LED ランプが青色に変わればフルに充電されたことになる。フル充電までに約 2.5 時間かかる。

バッテリー低下の知らせ

低バッテリーになると、スタンバイモードで点滅している LED は青色から赤色に変わる。そして、1分間毎にティティティと 3 回のビープ音が鳴り、バッテリーが低下していることを知らせる。

装着・操作方法

Bluetooth 機器とペアリング

・携帯電話とペアリング
・MP3 プレーヤーとペアリング
・Bluetooth ナビゲーションとペアリング
・インターコム通信をする SMH10 と SMH10 とのペアリング

ペアリングとは、Bluetooth 携帯電話、BluetoothMSP3 プレーヤー、Bluetooth 対応 GPS ナビゲーションなど、Sena SMH10 とともに使用するため行う初期設定を言う

携帯電話とペアリング

携帯電話の Bluetooth 接続画面から Bluetooth デバイスを検索し、検索された Bluetooth デバイスの中から Sena SMH10 を選び、ペアリング（初期設定）を行う。

1. **Sena SMH10 の電源をオンにする。**
2. **Sena SMH10 メインユニット上のフォンホタンを約 5 秒押し続ける。LED の色が赤と青を繰り返し点滅する。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴る。**
3. **携帯電話の Bluetooth 接続画面上にある Bluetooth デバイスを検索する時に、携帯電話から使用するサービスを選択し、ハンズフリー、あるいは、ヘッドセットを選択する。**
4. **携帯電話の Bluetooth 接続画面から Bluetooth デバイスを検索し、検索された Bluetooth デバイスの中から Sena SMH10 を選ぶ。**
5. **帯電話とヘッドセットとの接続に、暗証番号の入力を求めてきたとき、0000 を入力する。**
6. **携帯電話の Bluetooth 接続画面に SMH10 と表示されれば、ペアリング（初期設定）完了。**

（重要）
・Bluetooth 携帯電話から Bluetooth デバイスを検索する操作について、その携帯電話の設定方法をご確認ください。 例えば、Bluetooth をオンにするがオンになっているかご確認ください。
（例）口にレ点、ティックを入れる。

・Bluetooth 携帯電話に Bluetooth のサービスを選択する場合、Sena SMH10 は、Bluetooth のサービスのうち、ハンズフリー、あるいは、ヘッドセットのいずれか一つとペアリングするが、携帯電話の機種によっては特定ボタンが動作しない場合があるので、Bluetooth のサービスのハンズフリーを利用することを推奨する。

Bluetooth MP3 プレーヤーとペアリング

1. **Sena SMH10 の電源をオンにする。**
2. **Sena SMH10 メインユニット上のフォンホタンを約 5 秒押し続ける。LED の色が赤と青を繰り返し点滅する。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴る。**
3. **携帯電話の MP3 プレーヤーと SMH10 とのペアリングをする時、Bluetooth 接続画面上にある Bluetooth デバイスの検索には、携帯電話から使用する Bluetooth サービスに、ワイヤレスステレオ、または、あるいは、ステレオヘッドセットを選択する。 MP3 プレーヤーと SMH10 とのペアリングをする時には、Bluetooth サービスに、ワイヤレスステレオ、または、ステレオ ヘッドセットを選択する。**
4. **Bluetooth 携帯電話での通話と Bluetooth 携帯電話が持っている Bluetooth·MP3 プレーヤー機能を一緒に使う場合、携帯電話での Bluetooth サービスに、Bluetooth 携帯電話での通話には、ハンズフリー、 MP3 プレーヤーには、ワイヤレスステレオ、または、ステレオ·ヘッドセットとする。 つまり、Bluetooth サービスに、ハンズフリー、ワイヤレスステレオ、または、ステレオ·ヘッドセットの二つを選択する。**

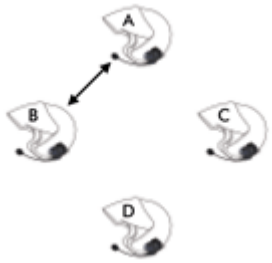
Bluetooth GPS ナビゲーションとペアリング

1. **Sena SMH10 の電源をオンにする。**
2. **Sena SMH10 メインユニット上のフォンホタンを約 5 秒押し続ける。LED の色が赤と青を繰り返し点滅する。同時に、“ティティティ”とビープ音が鳴る。**
3. **Bluetooth MP3 プレーヤーから Bluetooth デバイスを検索し、検索した Bluetooth デバイスから SMH10 を選択する。**
4. **Bluetooth サービスに、Bluetooth GPS ナビゲーションがステレオ ヘッドセット プロファイルをサポートしていない場合には、ヘッドセットでペアリングする。**
5. **Bluetooth 携帯電話と Bluetooth GPS ナビゲーションを一緒に使う場合には、携帯電話はハンズフリーで、Bluetooth GPS ナビゲーションは、ワイヤレスステレオ、または、ステレオヘッドセットでペアリングする。**

SMH10 と SMH10 同士でインターコム通信
（SMH10 同士、互いに最大 4 人でインターコム通信）

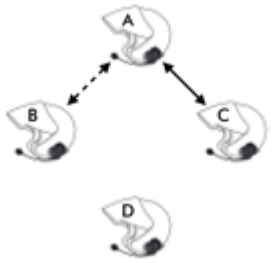
SMH10 同士、互いに最大 4 人でインターコム通信する初期設定は、次のように行う。

1. 1 台の SMH10 と他 3 台の SMH10 とペアリングを行うことが必要。ここでペアリング設定を説明するために、4 台の SMH10 を、A, B, C, Dとする。2 台ずつペアリングを行うので、ここでは、最初に、AとBから始める。
2. A, Bの 2 台の SMH10 のペアリングを行う。まず、A, Bの電源をオンにする。 Aのジョグダイヤルを約 5 秒押す。すると、Aのメインユニット上の LED が赤く点滅する。
3. 次に、Bのジョグダイヤルを約 5 秒押す。LED が赤く点滅する。
4. 携A, Bのうち、いずれかを任意に決め、任意に決めたほうのジョグ･ダイヤルを短く押す。すると、A, B両方の LED が赤の点滅から青に変わる。これで、A, Bのペアリングは完了。通話を始めるために、A, または、B, いずれかのジョグダイヤルを押してもOK。

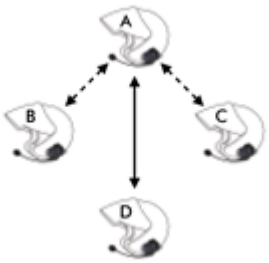


AとB のペアリング

5. 次に、AとC, AとDのそれぞれの組み合わせで、AとBのペアリング設定と同様にペアリングする。



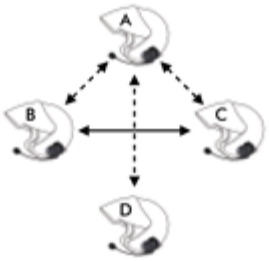
AとC のペアリング



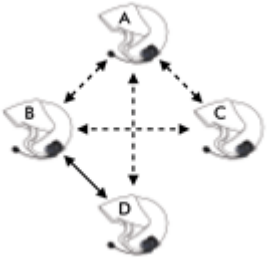
AとDのペアリング

6. BとC, BとDのそれぞれの組み合わせで、AとBのペアリング設定を行ったようにペアリングする。

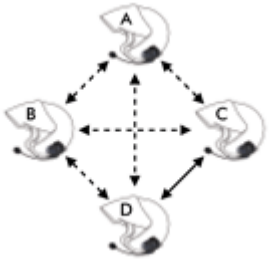
上記に説明したA, B, C, D、それぞれをペアリングする組み合わせと順番の図を参考にしてください。



BとCのペアリング



BとDのペアリング



CとDのペアリング

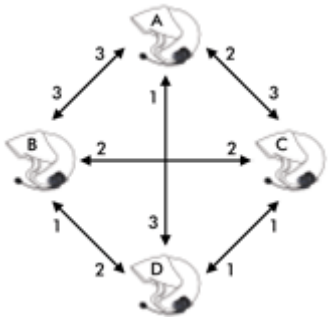
7. A, B, C, Dの SMH10 それぞれが互いにペアリング完了。

（重要）
A, B, C, D間でインターコム通話する時、その順番は、次のようになる。 最後にペアリングされた SMH10 が、最初のインターコムの通話相手となり、最初にペアリングされた SMH10 が最後のインターコムの通話の相手となる。

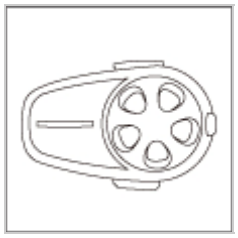
例えば、上記に説明したA, B, C, Dそれぞれの順でペアリングした時、A の最初のインターコム通話の相手は D で、2 番目がC, 3番目が B となる。

A	B	C	D
A の一番目は D	B の一番目は D	C の一番目は D	D の一番目は C
A の二番目は C	B の二番目は C	C の二番目は B	D の二番目は B
A の三番目は B	B の三番目は A	C の三番目は A	D の三番目は A

上記の表の図を参考にしてください。



装着・操作方法



SMH10 の使い方

目次

基本

各部名称
音量調整

携帯電話とともに使う

電話がかかってきた時、通話を始める
かかってきた電話を拒否する
つながっている Bluetooth 機器の切り替え
話をかけるいくつかの方法
SMH10 の音声認識電話応答機能を使う
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブにする/しない設定

インターコム通話

通話開始と相手を選ぶ
通話を終了する
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブ状態での通話開始
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブでない状態での通話開始
相手につながらない場合
自動的に再接続する場合

MP3 プレーヤーを聴く

音量を調整する
再生と停止
早送り、巻き戻し

基本

各部名称

SMH10 メインユニットをクランプユニットにとり付けた姿

ジョグダイヤル(回す・押す)の機能

・音量調節

・携帯電話応答拒否

・インターコム通信の開始／終了

・インターコム通信の音声自動認識アクティブする／しない

・MP3 プレーヤーの再生／停止

・MP3 プレーヤーのトラック早送り／巻き戻し

・インターコム通信のペアリングする設定状態

・携帯電話へ切り替え

フォンボタン(押す)の機能

・携帯電話の発信／応答

・携帯電話とペアリングする設定状態

・MP3 プレーヤー、GPS ナビゲーションとペアリングする設定状態

・音声自動認識アクティブする／しない

SMH10 メインユニット

スピーカーマイクロフォン クランプユニット

音量調整

ジョグ・ダイヤルを回して調節する。聴く対象機器ごとにそれぞれ音量設定し、設定した音量をそれぞれ記憶できる。例えば、Bluetooth·MP3 プレーターで音楽を聞く時、携帯電話で通話する時、SMH10 同士でインターコム通信する時、それぞれに設定した音量記憶させておくことができる。電源オフしてもその設定は記憶されているので、再びオンした時、設定した音量で聴くことができる。

携帯電話とともに使う

電話がかかってきた時、通話を始める

・携帯電話に電話がかかってきた時、呼び鈴はSMH10のスピーカーに聞こえる。受信OKし通話するには、SMH10のジョグダイヤルの右奥(ジョグダイヤルを左で覆うと親指部分にあたる)にあるフォン･ボタンをワンプッシュ、短く押す。

・携帯電話に電話がかかってきた時、言葉で答えると自動的に電話で通話可能な状態にできる。そのために、音声認識するように音声認識電話応答機能をアクティブに設定しておくと便利。工場出荷時の SMH10 は、非アクティブ状態なので、音声による電話応答機能をアクティブに設定することが別途必要。その設定方法は、SMH1-の使い方、その別項目を参照してください。

かかってきた電話を拒否する

呼び鈴が鳴っているうちに、ジョグ･ダイヤルをワンプッシュすると拒否できる。

つながっている Bluetooth 機器の切り替え

音楽を聴いている途中から携帯電話へ切り替え、インターコム通話途中に携帯電話へ切り替え、または、携帯電話から音楽を聴く MP3 プレーヤーへ、あるいは、インターコム通話への切り替えは、途中にジョグ・ダイヤルをワンプッシュする。
切り替えが行われる時、短いビープ音、長いビープ音が聞こえる。

電話をかけるいくつかの方法

・携帯電話から相手の電話番号を入力して相手を呼ぶ。すぐに、SMH10のフォンボタンを押すと、自動的にSMH10で通話できるようになる。

・携帯電話に音声認識電話応答機能がありそれがアクティブ状態の場合（詳細は、携帯電話のユーザーガイド参照）、スタンバイモード状態にある SMH10 のフォンボタンを押すと通話できるようになる。

・携帯電話のリダイヤル機能を使って相手を呼ぶとき、スタンバイモード状態にあるSMH10のフォンボタンを2度押すと通話できる。

SMH10 の音声認識電話応答機能を使う

SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブになっていると、かかってきた電話に応答するとき、SMH10 のマイクになにか発声すれば通話できる状態にすることができる。電話がかかって呼び鈴がなった時に、例えば、「はい」、または、「オーケー」など何か言葉を発して応答して通話ができる状態にできる。SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブになっていない時には、SMH10 のフォンボタンを押せば応答市通話できる。

工場出荷時の SMH10 は、SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブになっていない（非アクティブ状態）。

SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブにする/しない

音声認識電話応答機能をアクティブにする設定

1. SMH10 の電源オンの状態で、フォンボタンを約 8 秒間押し続ける。すると、SMH10 の LED が赤く点滅を始める。フォンボタンを押し始めてから約5秒後に携帯電話とSMH10ヘッドセットとのペアリング設定状態を示す。その状態のまま、続けて約3秒間押すと SMH10 の LED が赤く点滅する。

2. この状態ままフォンボタンをもう一度押す。すると、LED が青に変わり約 2 秒間点灯、ビープ音が2回ピッピッとなる。これで、SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブになったことを示す。

音声認識電話応答機能をアクティブにしない設定

音声認識電話応答機能をアクティブしない設定は、上記の 1 の状態で、ジョグ・ダイヤルを一度押す（フォンボタンではない）。すると、LED が赤になり約 2 秒間点灯する。ビープ音が1回ピッとなる。これで、アクティブではなくなる。

インターコム通話

通話開始と相手を選ぶ

SMH10 の待機状態に、ジョグダイヤルを押す（フォンボタンではない）と、ペアリングしている相手（SMH10）と通話ができる。一番目の相手（First Intercom Friend）との通話には一回、二番目の相手（Second Intercom Friend）との通話には二回、三番目の相手（Third Intercom Friend）との通話には三回短く押す。

（備考）
SMH10 同士のペアリング方法は、別項目 Bluetooth 機器とペアリング（初期設定）を参照下さい。

通話を終了する

通話途中で終了するには、ジョグ･ダイヤルを短く一回押す。通話中にジョグ･ダイヤルを押せば、誰との通信も終了する。

SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブ状態で通話開始

SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブ状態の時、待機状態でジョグ・ダイヤルを押さなくても「はい」、または、「OK」と声をだして一番目の相手と通話を始めることができる。この機能は、一番目の相手と通話する時のみ可能になる。

通信の途中に約 20 秒間、互いに対話がなければ、自動的にインターコム通信が終了される。

SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブ状態でない時に通話開始

この時には、インターコム通信のために、必ずジョグダイヤルを押すようにする。

（備考）
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブにする／しない設定については、{装着・操作方法:SMH10 の使い方:携帯電話とともに使う:音声認識電話応答機能をアクティブにする・しないの項}を参照ください。

（注意）
SMH10 の音声認識電話応答機能をアクティブになっていても、直前にインターコム通信をした時にジョグダイヤルボタンを押し通話を強制終了しているなら、音声認識電話応答機能は自動作動しない。 再度通話をはじめるには、ジョグダイヤルボタンを押す必要がある。これは走行中に、例えば、強い風音によりインターコム通信が自然に始まるのを防止するためである。約 20 秒間互いに対話がなくインターコム通信が終了する場合、もしくは、通話相手の操作で終了る場合、再び声を発声してインターコム通信を始めることができるようになる。

（備考） インターコム通信に限ってジョグダイヤルとフォンボタンについての豆知識。 基本的に、ジョグダイヤルは、インターコム通信の機能に関して使う。フォンボタンは、携帯電話との機能に関して使う。ジョグダイヤルは、インターコム通話をできるようにするために使われる。フォンボタンは、インターコム通話ができなくなるようにするために使われる。携帯電話とは逆の意味で使われる。

相手につながらない場合

すでにインターコム通信をしている時、携帯電話での通話に SMH10 を使っている時には、相手が通話中なのでつながらない。相手を呼んだときに低いビープ音が 2 回鳴るのは、そのような状態である。しばらくしてから、相手を呼ぶようにする。

自動的に再接続する場合

インターコムの通信中に相手との通信状態が悪くなれば（例えば、距離や遮蔽物など）、雑音が混じり、ある距離を超え相手から遠ざかれば接続が切れる。この状態で SMH10 は、約 8 秒毎に相手との再接続を自動的に試みる。その都度“ティティ”とビープ音が聞こえる。この自動再接続を中止したい時には、ジョグダイヤルを一回押す。

MP3 プレーヤーを聴く

聴く

MP3 プレーヤーのステレオ音楽を聴く方法には、2つあります。

・オーディオケーブルを使って聴く

同梱されている 3.5mm 標準オーディオ･ケーブルを使って、MP3 と SMH10 とを接続する。音量はジョグダイヤルを回して調節できる 。SMH10 を利用したトラックの停止、早送り、巻き戻し、のプレーや一機能は使えない。

・ MP3 プレーヤーの Bluetooth で聴く

Bluetooth に対応している MP3 プレーヤーとペアリングをして音楽を聴くことができる。SMH10 は AVRCP プロトコルをサポートしているので、Bluetooth 対応の MP3 プレーヤーもこのプロトコルをサポートしていれば、ジョグダイヤルを使ってして再生、停止、早送り、巻き戻し/をリモートでコントロールできる。

音量を調整

ジョグダイヤルを回して音量を調整する。

再生と停止

再生は、ジョグダイヤルを約 1 秒間押す。 停止は、再度、約 1 秒間押す。その設定はピーという音で知らせる

早送り、巻き戻し

早送り、巻き戻しは、ジョグダイヤルを押した状態で回す。

装着・操作方法

操作の予備知識

・機能に優先順位があります
・初期状態の仕方(工場出荷時状態にする)
・異常動作を万が一起こしたとき

機能に優先順位あり

SMH10 には、つなぐ Bluetooth 機器がいくつかある。つなぐ Bluetooth 機器と動作する順番には優先順位がある。

優先順位は、一番高い順にならべると、

携帯電話 > インターコム通信 > MP3 プレーヤー(オーディオケーブル接続と Bluetooth 接続)

となる。

つまり、優先順位の低い機能を使っているときには、上位の機能が割り込む。例えば、MP3 プレーヤーを SMH10 で聴いているとき、インターコム通信が割り込み、インターコム通信の時に携帯電話の呼び鈴が割り込む。携帯電話での会話が終了すれば、インターコム通信がはじめることができ、インターコム通信を終わらせれば、MP3 プレーヤーの音楽を SMH10 で聴くことができる。

(注意)
MP3 プレーヤーの音楽を SMH10 との Bluetooth 通信で聴くときには、SMH10 にオーディオケーブルが接続されていないことが必要で、そのケーブルが接続されていれば、外すこと。

初期状態(工場出荷状態)にする

SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押し続けると LED が赤に点灯。次にジョグダイヤルを約 5 秒間押す。すると、初期状態(工場出荷状態:どの機器ともペアリングされていない状態)になる。

（注意）
SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押し続けて LED が赤に点灯した後、5 秒以内にジョグダイヤルを押さない場合、初期状態にはならず、始めにもどり待機状態になる。その時には、もう一度、SMH10 のメインユニットにあるフォンボタンを約 12 秒間押すことから始める。

万が一異常動作を起こしたとき

SMH10 がなんらかの理由で正しく動作しないことが生じた場合、リセットをする必要があるかもしれない。リセットする操作は、SMH10 の電源オン状態で、SMH10 メインユニットの裏にある小さなピンホール（穴）にピンを約 2 秒間差すとリセットされる。

（注意）
リセットしても SMH10 を初期状態（工場出荷状態：どの機器ともペアリングされていない状態）にならない。

--- メモ ---

SMH10

フォーム

・保証書
・障害修理票

--- メモ ---

ご記入は、●印(グレー色の項目)太枠内にお願いします。

修理No. RMA

障害修理票 〔 〕 （記入例）

☐ISM 受付

承認	担当	受付

●製品名	Sena SMH10
●製品番号	0410001 （数字7桁）
●製品モデル	SMH10-01
●ｼﾘｱﾙNo.	

【ご注意】 ご提供いただいた情報は、お客先の同意なく第三者への開示は行いません。また、修理品の発送、修理品に関するお問い合わせの目的にのみ使用いたしますのでご安心ください。 修理にお出し頂いた**機器内の設定データ**は検査の為、**消去**致しますので予めご了承ください。

●障害受付日 2010/x/xx

●製品ご返送先

会社名 ABC会社
お名前 あいうえお
〒 123-0012
ご住所 xx県xxx市xxxx町 1-2-3
ABC会社 abc部
電話 携帯 xxx-xxxx-xxxx / xxx-xxx-xxxx
メールアドレ. xxxxx@yyyyyyyy.com

●ご利用環境

使用環境・状況など なるべく詳しくお願いします。
使用場所、天候などの環境、充電時、メインユニットのLED, ビープ音など

●故障状況お問合せ先

会社名 ABC会社
お名前 あいうえお
電話 携帯 xxx-xxxx-xxxx / xxx-xxx-xxxx
メールアドレス

●有償の場合、ご請求先(返送先と異なる時

会社名 ABC会社
お名前 あいうえお
〒 123-1234
ご住所 xx県xxx市xxxx町 1-2-3
ABC会社 abc部
電話 携帯 xxx-xxxx-xxxx / xxx-xxx-xxxx
メールアドレス

●発生状況

■ 初めから
☐ ある日突然
☐ 環境を変えたら
☐ その他( )

●発生頻度

■ 必ず発生
☐ 頻発または時々発生
☐ その他( )

●修理依頼添付品

(送付頂く添付品をご記入下さい)
・
・
・
・
・
・
☐ 別紙記入

●現象(ｴﾗｰ表示/LED表示/不具合状態など)

(例 1) 電源オンにしても LEDが青色に点灯しない。

修理報告

検査結果 :
製品の検査結果 ☐ 不具合を確認 ☐ 合格

処置
☐ 製品を修理いたしました。
☐ 依頼品をご返送いたしますので、再度ご確認ください。
☐ 交換いたしました。
☐ その他

修理担当からの連絡事項

修理代金

☐無償 ☐ 有償可確認 ☐有償ｷｬﾝｾﾙ

部品・製品	数量	価格

合計・消費税別 ¥

修理送り先 : 〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1丁目24番地14号
EXOS恵比寿ビル5階
株式会社ｲﾝﾀｰｿﾘｭｰｼｮﾝﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ 修理受付宛
・修理に関するお問い合わせ窓口
電話 03-5795-2685
メール support@intersolutionmarketing.com

ご記入は、●印(グレー色の項目)太枠内にお願いします。

修理No. RMA

障害修理票 〔 〕

☐ISM 受付

承認	担当	受付

●製品名	
●製品番号	（数字7桁）
●製品モデル	
●ｼﾘｱﾙNo.	

【ご注意】　ご提供いただいた情報は、お客先の同意なく第三者への開示は行いません。また、修理品の発送、修理品に関するお問い合わせの目的にのみ使用いたしますのでご安心ください。　修理にお出し頂いた**機器内の設定データ**は検査の為、**消去**致しますので予めご了承ください。

●障害受付日

●製品ご返送先

会社名

お名前

〒

ご住所

電話

メールアドレ.

●ご利用環境

使用環境・状況など　なるべく詳しくお願いします。

使用場所、天候などの環境、充電時、メインユニットのLED, ビープなど

●故障状況お問合せ先

会社名

お名前

電話

メールアドレス

●有償の場合、ご請求先(返送先と異なる時

会社名

お名前

〒

ご住所

電話

メールアドレス

●発生状況

■　初めから
☐　ある日突然
☐　環境を変えたら
☐　その他(　　)

●発生頻度

■ 必ず発生
☐　頻発または時々発生
☐　その他(　　)

●修理依頼添付品

(送付頂く添付品をご記入下さい)

・
・
・
・
・
・

☐　別紙記入

●現象(ｴﾗｰ表示/LED表示/不具合状態など)

（例　1）　電源オンにしても　LEDが青色に点灯しない。

修理報告

検査結果　:

製品の検査結果　　☐　不具合を確認　　☐　合格

処置

☐　製品を修理いたしました。
☐　依頼品をご返送いたしますので、再度ご確認ください。
☐　交換いたしました。
☐　その他

修理担当からの連絡事項

修理代金

☐無償　☐　有償可確認　☐有償ｷｬﾝｾﾙ

部品・製品	数量	価格

合計・消費税別　¥

修理送り先　:　〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1丁目24番地14号
EXOS恵比寿ビル5階
株式会社ｲﾝﾀｰｿﾘｭｰｼｮﾝﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ　修理受付宛
・修理に関するお問い合わせ窓口
電話　　03-5795-2685
メール　support@intersolutionmarketing.com

⋆保証契約約款⋆

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の弊社条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意いただけない場合は、保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第一条（定義）

１　この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。

２　この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。

３　この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該個所の修理をいいます。

４　この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。

５　この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。

６　この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包された物のうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第二条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることはできません。

２　修理をご依頼される際に、保証書または、製品購入日を証明できる書類を提出できない場合。

３　お客様が製品をお買い上げいただいた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。

４　お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。

５　火災、地震、落雷、風水害、その他天変地異、または、以上電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。

６　消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。

７　前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法によると認められる場合。

第三条　（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

１　修理のご依頼時には製品を弊社修理サポート宛までご送付ください。宛先については本マニュアルの修理サポートのご案内をご覧ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送はお断り致します。

２　修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。

３　無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。

第四条　（免責事項）

１　お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。

第五条　（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

製品保証

修理サポートご送付先： 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-24-14 EXOS 恵比寿ビル 5F 株式会社インターソリューションマーケティング 修理サポート受付宛 Phone:03-5795-2685　Fax: 03-5795-2686 support@intersolutionmarketing.com **[送付いただくもの]** 本製品、保証書（または購入日を特定できる書類）、修理依頼票（弊社サイトからダウンロードできます）	品名　　： 製品モデル 型番/シリアル 保証期間　：ご購入日より１年 販売店　　：店名・住所・電話 印 ご購入日　（販売店様記入欄）　　年　　月　　日 ＊購入日を確認できる領収書などのコピー添付を御願いします。

(備考)保証約款は、本ページの裏に記載されています。

問い合わせ　　http://intersolutionmarketing.jp/headset/

株式会社インターソリューションマーケティング
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-24-14
EXOS 恵比寿ビル 5F
Phone: 03-5795-2685 Fax: 03-5795-2686
Mail: info@intersolutionmarketing.com

発売元 （株）インターソリューションマーケティング
製造元 セナテクノロジィーズ

(c) インターソリューションマーケティング 2010
本製品の開発・製造は Sena Technologies Inc.です。製品名、会社名は、各社の商標あるいは登録商標です。
本製品仕様は断りなく変更されることがありますので予めご了承ください。